

第九回 衆議院日本勸業銀行法案委員會速記録

(第七號)

(七八)

明治二十九年三月六日午前十一時六分開議

○委員長(石田貫之助君) 第八回ノ會議ヲ開キマス、昨日ノ續、第五條

○(立石岐君) 此五條ニ就キマシテハ、昨日河島君カラ修正ノ意見ヲ御提出

○委員長(石田貫之助君) 他ニ御意見ガゴザリマセヌカ——第五條ハ異議ガ

○(河島醇君) 昨日ノ會議ニ於キマシテ修正ヲ提出シタ意見ヲ述ベテ置キマ

○(立石岐君) 唯今第六條ニ就イテ河島君カラ御述ベニナリマシタガ、是モ

○委員長(石田貫之助君) 立石君ニ御尋シマスガ、十名ト致シタイト云フコ

○(高木正年君) 私ハ河島君ニ贊成致シマスガ、ソレニ立石君ノ「大藏大臣」

○(立石岐君) 唯今高木君カラ「主務大臣」ヲ「大藏大臣」ト私ノ修正スル

○(名倉次君) 少シ時候後レデゴザイマスケレドモ、政府委員ニ一寸御尋致

○政府委員(添田壽一君) 今大略御述ベノ通りデゴザリマス、立案ノ趣旨ニ

○(名倉次君) 副總裁ト總裁ハ連帶ノ責任ヲ持ツ……

○政府委員(添田壽一君) 矢張總裁ニ代リタル場合ニ於テハ、其代リタル場

○(河島醇君) 本員ハ修正案ニ對シテ立石君ノ御意見ガゴザイマシタガ、丁

○(真館貞造君) 「再選セラル、者モ」ト云フハ「再選セラル、時モ」ト云フ

イ意味ニナツテ來ル

○(名倉次君) 度々質問ヲ持出シテ相濟ミマセヌガ、河島君ニ今一ツ御尋致シマス、商法ノ規定ニ依リマスルト、取締役ト云フ者ハ株主ノ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解備スルコトガ出來ル、あまたノ御説ニ依リマス、主務大臣ハ之ヲ任命スルコトヲ得ルト、併シ退職ノ場合ニハ定メテナイ、法文ガナイ限りニハ、商法ヲ以テ株主總會ノ決議デ、政府ノ名義デ總裁、副總裁ヲ解備スルコトガ出來ルノデスカ

○(河島醇君) 政府ニ要求スレバ出來ルデス

○(名倉次君) 商法ノ方ニ規定ガアツテ、出來ルト云フ規定ガアレバソレニ依ラナケレバナラス、他ノ法律ニ依ツテ定メルノ外ハ……

○(河島醇君) 本員ガ修正ノ意見ハ、大体商法ニ依ツタモノデゴザイマヌルガ、即チ總裁トカ副總裁ト云フモノハ名稱ガナイ、併ナガラ商法家ヲシテ居レバ頭取副頭取ニ違ヒナイ、名倉君ノ御説ノ如ク解備スルコトニナル、併ナガラ外ノ解釋ニ依レバ或ハ大藏大臣、若クハ主務大臣ニ於テ任命スルト云フ明文ハナイノデス、商法ノ上ニ是ハ即チ特別デアルカラ、其特別ニ對シテ總會ニ於テ解備スルト云フコトヲ特ニ設ケタノデゴザイマヌカラ、此職務ヲ解備スルヤウナ不都合ガ生ジタ場合ニ於テハ、總會ノ決議ヲ以テ特ニ主務大臣ニ請求スル場合ガアルカモ知ラヌ

○(名倉次君) 是ハ修正ノ意見デモナシ、強チ論ズルノデモナイ、餘程大切ナルコトデ商法ト引續レテ居リマスカラ能ク照合ハシマセヌト、一方ニ任命スルト云フコトハ認可ヲ經ルトカ、承諾ヲ經ルトカ云フコトヲ置ケバ、解職ノ場合モ又同ジト云フ字ヲ置キマセヌト不都合デアルト思フ、河島君ノ熟考ヲ請ヒタイ

○委員長(石田貫之助君) 六條ニ就キマシテハ他ニ異議ハアリマセヌガ、決定スル場合デアリマスカラ一遍讀ンデ見マス

第六條 取締役ハ十名トシ其任期ヲ五箇年トス株主總會ニ於テ五十株以上ヲ所持スル株主中ヨリ選舉シ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ其満期ノ際再選セラレ、モノモ又同シ

○(高木正年君) 河島君ノ三年說ハナクナツタノデスカ

○委員長(石田貫之助君) ナクナツタ

○(高木正年君) ソレデハ私ガ三年說ヲ出シマスガ、勸業銀行ノ年所ヲ經マシタ後ニハ如何カ存ジマセヌガ、初ニハ短クシテ置イタ方ガ宜カラウ、元ト官選ノ取締デハゴザイマヌケレドモ、強チ任免ガ適當トハ思ヒマセヌシ、又縦シ適當デアツテモ、實際ニ從事スル場合ニドウ云フ傾ニナルカモ分ラヌカラ、最初ハ短クシテ置イテ、三年ガ全ク實際上ニ不利益ノ簡條ヲ發見シタナラバ五年ト改正スルコトハ容易ノコトデゴザイマヌカラ、今日カラ長イ任期ニ定メナケレバナラス必要モナイト思ヒマスカラ、三年ヲ主張致シマス、○(名倉次君) 速モ成立チマセヌケレドモ、自分ノ意見丈述べテ置キマス、

確定議ノ際ニ五條ノ文章モ直ス考デアリマスガ六條ノ「十名以上トシ」ト云フ六字ヲ削リマス、是ハ文章上甚ダ不體裁デ、五條ニハ「若干名ヲ置ク」トシテ、六條ニ「十名以上トシテ」ハ重複シテ來テ居ル、若干名ト云ヒ、十名ト云フ重複ノ語ヲ用非ナクテモ宜シイ、ソレカラ主務大臣ト云フコトハ此儘デ宜カラウト思フ、何ゼナラバ、寧ロ勸業銀行ハ他日議論ガ起ツテ農商務ノ下ニ立チハセヌカト云フ考ガアル、勸業銀行其モノノ性質カラ云フト、大藏省ノ主管スベキモノデナイ、銀行ハ大藏省ノ主管デゴザイマセウガ、勸業ト云フコトハ農商務省ノ主管トセネバナラス、サウ云フコトガゴザイマヌカラ、主務大臣トアツテ差支ナイ、大藏大臣ト直シテ範圍ヲ狹クスル必要ハナイト思ヒマス、故ニ主務大臣ノ方ヲ贊成シマス

○(喜多川孝經君) 三年ト云フ高木君ノ說ニ贊成シマス

○(豐田文三郎君) 「十名以上トシ」ノ六字ヲ削ルコトニ贊成シマス

○委員長(石田貫之助君) ソレデハ採決シマス、先ヅ最初立石君ノ述べラレタ如キノ決ヲ採リマス、前ニ申シタ如ク、「十名トシ」トシテ以上ヲ削リ、「三年」ガ「五年」ニナリ、「主務大臣」ハ「大藏大臣」トスル、此說ニ贊成ノ諸君ハ舉手

舉手者 多數

○委員長(石田貫之助君) 過半数デアリマスカラ此說ニ決シマス、次ハ第七條ニ掛リマス

○(河島醇君) 第七條ニハ、先回ニ於テ修正ノ意見ヲ述べテ置キマシタガ、尙立石君ヨリノ提出ニナツタ所ノ修正モアリマヌカラ、尙協議ノ結果更ニ修正ヲ致シマシタ、其修正ノ條項ハ

第七條 大藏大臣ハ前項ノ取締役中ヨリ時ニ總裁副總裁ヲ任命シ其餘ノ取締役中ヨリ互選シテ常議員三名、評議員五名ヲ置クモノトス

○(高木正年君) 河島君ニ御尋シマスガ、一体此取締役ガ出來マシテ其内事務取締役ガ出來マス、アトノ取締會議ノトキ欠席スルコトニナルト、常議員ト云フ名ガナクテモ宜シイ、取締會員ガ存在シテ居ル間ハ、然ルニ故ラニ茲ニ此名ヲ特ニ附ケナケレバナラヌカ

○(河島醇君) ソレハ常議員ハ、總裁、副總裁ヨリ重イコトガアルナゼカト云フト、庶務上ニ於テ盡ク之ガ責任ヲ持ツモノデアアル、ソレカラ九條ノ二項ヲ御覽ニナレバ分ル、總裁、副總裁ハ在任中、他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ許サズトアル、評議員デアレバ、外ノ業務ニ從事スルコトヲ許ス、此專務員ヲ置クヲ許スト云フノデアアル、殊ニ評議員ハ自カラ庶務取締ノ他、其他ノコトハ評議員ノ資格ヲ有スルハ明カデアリマスガ、ソレヲ特ニ此處デ明カニシタノデアリマス

○(豐田文三郎君) 取締人ノ内カラ總裁、副總裁ト云フモノガ出來ルノデスネ、サウスルト總裁、副總裁ハ取締中カラ出來ルト、ソレデ第五條ニ總裁、副總裁ト云フコトヲ上ゲマシテ、同ジク此處ニ上ゲマスノハ評議員モ……是

ハドウナルノデスカ

○(河島醇君) ツレフ特ニ置カナカツタ理由ハ、評議員モ取締モ……

○(豊田文三郎君) ツレナレバ此處ニ總裁モ副總裁モ擧ゲナクテ宜シイ

○(河島醇君) 是ハ併ナガラ、固ヨリ取締中ノモノデアリマスガ、併シ此理

由書中ニハ幾分カ一名ノ専務取締役ヲ……社長トスル、ツレト類例ガ違ヒマ

ス、ツレデ特別ニシタノデアル

○(名倉次君) 毎度質問シマシテ濟ミマセヌガ、河島君ニ御尋シマスガ、此

專任ト云フコトハ大層疑ガアリマスガ、斯ウ云フ人間ガ澤山作ラレマス

責任ノ區域ハドウ云フ工合ニナツテ居リマスガ、後ノ八條ヲ見マシタナラ

分リマセウガ、責任ハドウ云フ工合ニナリマスガ、總裁、副總裁ハ責任ヲ持

ツテ、其他ハ責任ヲ持タヌノデアリマスガ、又ハ連帶責任デアリマスガ

○(河島醇君) 特ニ定款等デ規定ノナイ所ハ、例ハ株主ニ對スル責任ハ、

取締ガ持ツケレドモ、取締トシテノ全体ノ責任ハ商法ノ規定スル如クデゴザ

イマスケレドモ、其内デ定款ノ上ニ職權ヲ一度規定シマスルト、自カラ條文

ニ對シテハ又其責任モ異ナル所ガアル

○(名倉次君) 益々分ラヌ様ニナリマシタガ、法律ニ規定シテアルモノデ、

此定款デ法律ノ效力ヲ打消シテ、更ニ規定スルコトガ出来マスガ

○(河島醇君) ツレハ私ノ申方ガ悪カツタカ知レマセヌガ、普通ノ法律デ出

來テ動クベカラザルモノハ其通りデアル、其他ノコトハ特ニ責任ヲ持ツ、ツレ

ハ或場合ニ總裁、副總裁ハ命令スルコトガアル、命令ヲ受クルモノト、命令ヲ

爲スモノトハ自ラ職務ガ違フ、例ヘバ取締中カラ互選セラレテ常務員トナツ

テ、ツレカラ銀行ノ一部ヲ負擔シテ事ヲ處理スルト、其負擔シタコトニ就イ

テハ總裁ノ命令ヲ受ケナケレバナラヌ、斯ウ云フ場合デアリマス

○(名倉次君) 大藏大臣ガ其餘ノ取締役中ヨリ互選スル、大藏大臣ガ互選ス

ルト云フノハドウ云フデアリマスガ

○(河島醇君) 大藏大臣ト云フコトハ一項ノ全躰ニ掛ツテ居ル、文章ノ書方

ガ悪カツタカ分ラヌガ、サウ云フ意味デハナイ、如何ニモ御疑ノ如キ嫌ガア

リマス、ドウカ御心付ケテ願ヒタイ、ツレカラ第七條ヲ特ニ置クヤウニ述ベ

マシタガ、是ハ第六條ノ二項ト致シマスノデアリマスガ

○(高木正年君) 私ハ河島君ノ修正説ヲ修正致シマス、即チ「大藏大臣ハ前

項ノ取締中ヨリ總裁副總裁ヲ任命シ其餘ノ取締中ヨリ互選セシメ掌務三名ヲ

置クモノトス」斯様ニ修正致シタイ、評議員ト云フ名義ガナクテモ、其餘ノ

取締役ハ會議ニ入ルモノガアリマスガ、別段ニ評議ト云フ名ヲ附サヌデモ

宜イツレデ河島君ハ商業ニ從事セシメナイト云フ制裁ガアルト云フコトカ

ラ此箇條ガ出タト云ハレマスガ、私ハ總裁、副總裁、監査役ト云フ上ニ、取

締ニ制裁ヲ置カヌコトニスレバ差支ナイと思ヒマス

○(名倉次君) ドウゾ本項ハ意思ヲ決定シテ、文章ハ熟考スルト云フコトニ

モ苟モスルコトハ出来ナイ、意思ヲ決定シテ置イテ、文章ハ河島君等ト評

議シテ宜イヤウニ直シタイ

○(河島醇君) 名倉君ノ御意見ハ、修正者モ贊成スル、文章ノ好惡ニ就イテ

ハ本員モ満足シマセヌカ

○委員長(石田貫之助君) 名倉君カラノ先決問題トモ云フベキモノガ出テ居

リマス、之ニ同意ハゴザイマセヌカ

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○委員長(石田貫之助君) ツレデハ河島君カラ出テ居リマス第六條ノ二項

ノ趣意ハ、先刻御讀上ゲニナリマシタ通りデアリマスガ、其趣意ノミコ、デ

決定致シテ、其趣意ガ確定致シタナラ、文章ハ後トデモ、第六條ノ第二項ノ

趣意ハ河島君ノ御説ノ如クデ宜シイト云フ、之ニ贊成ノ諸君ハ舉手

舉手者 多數

○委員長(石田貫之助君) 過半数デアリマスガ、趣意ハ之ニ決シマス――

次ハ第七條

○(河島醇君) 一寸申上ゲマス、即チ修正シテ提出致シマシタ條項ガ、先キ

第七條トナツタノハ之ヲ第六條ノ二項ト致シタ以上ハ、自ラ條ハツレヨリ線

上ゲルト云フコトニ御承知ヲ願ヒマス、今議題トナリマシタ第七條ノ修正ノ

立案ハ、全ク現行ノ商法ヲ基礎ト致シタノデゴザリマス

○(工藤行幹君) 唯今ノ第六條ノコトハ決定シタノデゴザリマスガ、文案ハ

アトデ何ニスルト云フコトデ、ツレニ就イテハ念ノタメニ申シマス、若シヤ

文章ノ修正ニ依ツテ第五條ニ影響スル場合モ、改メルノニシテ置キタイと思

ヒマス

○(河島醇君) 茲ニ申上ゲマス、前ノ三年ヲ五年ト致シマシタガ故ニ、此監

査役任期ヲ二箇年ト云フコトヲ三箇年トスルコトニ更ニ修正ヲ致シマス、併

セテ申上ゲ置キマス、是ガ通過シテ、文章ノ修正ハ前項ノ如ク、尙一ツ特ニ

文字ノ校正ヲ爲スト云フコトヲ希望致シマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○(坂本理一郎君) 唯今工藤君カラ御述ニナツタヤウニ、大分複雑シテ居ル

ヤウデゴザリマスガ、第六條ノ二項ニ總裁ノ規定ヲスルハ、少シク面白ク

ナイヤウニ思ハレマスルカラ、此第二章全体ヲ擧ゲテ、矢張文章ノ修正ヲ後

トニスルト云フコトガ宜カラウト存ジマスガ、サウナサツテハ如何デス

○委員長(石田貫之助君) 他ニ御意見ハゴザリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(石田貫之助君) 然ラバ第七條ハ河島君ノ修正通り決定致シマシ

タ、次ハ第八條ニ移リマス

○(河島醇君) 此八條ノ修正ハ「總裁副總裁常務員及評議員ノ職權及責任ハ

出致シタノトハ少シク今讀上ゲマシタノヨリモ文字ガ違フテ居リマスカラ、今朗讀シタノヲ以テ、提出シタ修正ト御承知アラシコトヲ希望致シマス

○(河野岩吉君) 此第八條デゴザリマスガ、八條ノ第一項ハ削除スル考デゴザリマス、斯様ナルコトヲ法律中ニ規定スル餘地ハ更ニゴザリマセヌ、是等ノ事ハ既ニ商法ニ於テ明カニ定メテアルコトデ、河島君ガ此一項ヲ設ケラレタ趣意ヲ考ヘマスルト、是ハ所謂庶務規定ト云フヤウナモノデ、唯事務上ノ役員ト役員トノ間ニ於ケル權限トカ、或ハ責任トカ云フヤウナコトデ、茲ニ法律ノ規定ヲ以テ役員ト役員トノ間ニ於ケル職權、責任等ヲ斯クマデ仰々シク書キマスルト、或ハ商法ノ規定ヲ抹殺スルト云フ嫌ガ出來マスル、ソレデ此八條ノ第一項ハ削除ヲ致シタイ、左様ナル事ハ茲ニ規定ヲ致サズトモ、定款ノ上ニ定メ置ケバソレデ十分デアル、折角商法ノ規定ト違フコトヲ考ヘナガラ、茲ニ斯様ナル條項ヲ設ケマスルコトハ甚ダ疑ヒヲ起ス譯ニナリマス、ソレデ文章ノコトハ段々前條ニモゴザリマシテ、文章ノコトハ暫ク差置キマシテ、之ヲ設クルコトノ必要ガナイ、又設クルトソレガタメニ大ニ疑惑ヲ起ス、斯ウ云フ考デ、八條ノ第一項ハ削除シタイト云フ考デゴザリマス

○委員長(石田貫之助君) 河野君ニ御尋致シマスガ、第八條ノ一項ハ削除スル、第二項ハ存スルト云フノデスカ

○(河野岩吉君) 其考デス

○委員長(石田貫之助君) 第二項ハ第八條ト改メテ存スルト云フノデスカ

○(河野岩吉君) 左様デス

○(河島醇君) 是ハ先日來段々議論ノアリマシタコトデ、一寸辯明致シマス、本員ガ此第八條ノ一項ヲ設ケタト云フノハ、成程普通ノ商法ノ本旨カラ言ヘバ、是ハナクテモ宜イカ知レヌ、併シ商法ニハ總裁、副總裁、常議員ダトカ、評議員ダトカ云フ名稱ガナイ、又法律ニ對スル責任ハ商法デ明カデゴザイマスケレドモ、銀行ノ業務、其他ノ動作ニ對シテハ大ニ職權、職責ヲ明カニシテ置クト云フコトガ必要デアル、ソレデ特ニ之ヲ掲ゲタト云フモノハ、何ニ據ツタカト云ヘバ正金銀行ノ條例ニ據ツタデアル、正金銀行ノ條例ニ據ツタナ特別ガアル、即チソレニ據ツテ之ヲ掲ゲタノデアリマス、今ノ御説ニ反對ハ致シマセヌケレドモ、要スルニ正金銀行ノ條例ニ據ツタウ云フ明文ガアリマスカラ掲ゲタノデアリマス、之ヲ一應申上ゲテ置キマス

○(工藤行幹君) 唯今大層御心配モアリマスケレドモ、河島君ノ説明デ能ク分ツテ居ル、併ナガラ此文字ノ中ニ責任ト云フコトガアルカラ、サウ云フ疑ガアルカ知レマセヌガ、總裁、副總裁、乃至常議員トカ評議員トカ云フモノハ商法ニナイノデアアル、故ニ此職權丈ハ定款デ定メテ置イタ所ガ何モ疑ノ起ル譯ハナイ、若シ責任ト云フコトヲ書イタナラバ、或ハ河野君ノヤウナ御疑ガ出テ來ルカモ知レマセヌガ、此取締役ト云フモノニ對シテ商法デ責任ヲ明カニシテ居ルコトガアレバ書クニ及バナイケレドモ、職權ト云ヘバ——商法ニナイ所ノ總裁ダトカ、副總裁ダトカ、或ハ常議員、評議員ト云フモノヲ置

イタ以上ハ、其職權ヲ定款デ定ムルト云フコトヲ書イテ置クノハ、外ニ紛ラハシイコトハナイ、責任ト云フコトガ惡イナラバソレ丈除イテヤレバ至當ダラウト思ヒマス、然ルニ先刻文字ノ處ハ後デ直スト云フコトデゴザイマスカラ、私ハ河島君ノ説ニ贊成致シマス

○(河野岩吉君) 總裁、副總裁等ノ職權、責任ヲ定款ニ規定スルト云フコトガ宜シクナイト云フコトヲ私ガ述ベマシタコトニ就キマシテ、河島君カラ御辯明モアリ、又工藤君カラ段々御注意モゴザイマシタガ、倍此總裁、副總裁ナドト云フ者ノ名ガ商法ニナイ、私ノ疑ト云フモノハ是ハナクトモ宜イ、何ゼト云ヘバ株式會社ニハ取締役ト云フモノガアツテ、此取締役ト云フモノハ社會ニ對スル責任ヲ持ツテ居ル、ソコデ總裁、副總裁ノ名ト云フモノハ取締役カラ出タ、取締役ト云フモノガアツテ其上ニ出來タ總裁、副總裁デアル、若シ之ヲ總裁、副總裁ト云フコトニスルト、此總裁、副總裁ノ責任ヲ定メテ置カネバ、商法デハ此事ガ出來ナイト云フヤウナ疑ヲ起サウニシマスルト、今世間ニアル所ノ彼ノ株式會社、取引所ナドニハ、理事シヤノ、理事長シヤノト云フモノガゴザイマス、是ガ何カト云ヘバ即チ取締役デアル、商法ノ取締役ト同シ責任デアル、ソレデ此總裁、副總裁モ取締役ト連帶責任デ商法ノ規定ニ服從シナケレバナラヌ、社會ニ對シテソレ丈ノ責任ヲ負ハナケレバナラヌ、ソレハ毫モ疑ガナイ、登記所デ登記ヲスル時分ニ、取締役ノ氏名左ノ如シトスル、是ハ今現ニ行フテ居ル、サウ云フコトヲ心配スルト、彼ノ銀行ナドニ於キマシテモ、株式會社、何々銀行ノ頭取、副頭取ト云フ名稱ハアルガ、商法ニハ規定ガナイ、然ラバ是ニ向ツテモ相當ノ責任ヲ負ハスルト云フコトヲ規定シテ置カネバナラヌト云フコトニナリマス、取締役ト云フモノハ株式會社ノ責任者デアルカラ、或ハ其上如何ナル名稱ガ出來タ所ガ何ニモ疑ガナイ、總裁ナリ副總裁ナリノ權限、責任ヲ定メテ置ク必要ガアレバ、定款ナドデ規定スベキモノデハゴザイマセヌ、法律デ規定スベキモノデアリマス、定款ハ誰ガ作ルカト云ヘバ即チ株主ガ作ルモノデアル、斯様ナコトヲ以テ商法ノ附則デ行ウト云フヤウナ譯ニハ決シテ參リマセヌ、是ハ一ツ御考ヲ願ヒマス

○(工藤行幹君) 大キナ聲ヲ以テ御議論ニナリマスカラ、私モ議論體ヲ以テヤリマセウ、抑、取締役ノ社會ニ對スル責任ト云フモノハ、三歳ノ童子ト雖モ能ク分ツテ居ル、商法ニ規定シテアルノモ知ツテ居ルコトデ、敢テ耳新シキ御論トハ思ヒマセヌ、先刻私ガ述べタ此責任ト云フコトガ惡イノデアアルラウ、此會社ガ一ツ別段ニ此商會社ヲ起ス場合ニハ、別段ノ法律ヲ以ツテ成立ツモノデアアルカラ、今總裁、副總裁ダトカ、或ハ常議員、評議員ト云フモノヲ別段ニ設ケタ以上ハ、此職權ヲ明カニシナケレバナラヌコトデアアル、ソレヲ明カニ定款デ、法律デ規定セヨト此法律ガ命令シタ所ガ何ノ差支モナイ、是ハ大事ナ會社デ尋常ノ者ニ許サヌモノデアアルカラ、總裁、副總裁ハ大藏大臣ガ指定スル、或ハ此前ニ創立ノ際ニ大藏大臣ガ役人バカリヲ以テ組織

スルト云フヤウナ特別ノモノデアアル、故ニ此商法ニナイ所ノ名ノ總裁、副總裁、或ハ常議員、評議員ト云フモノヲ新タニ設ケタナラバ、其職權ト云フモノモ新タニシテ置カナケレバナラヌ、此職權ヲ明ニシテ法律ガ命令シテモ何ノ差支モナイ、此取締役ノ責任ト云フモノハ——社會一般ニ對スル責任ト云フモノハ、商法ニ規定シテ分ツテ居ルカラ宜イト、併シ此職權ヲ明ニシテ書クニ、何モ差支ナカラウト思ヒマス

○(高木正年君) 私ハ少シ出遅レテ參リマシタガ、河島君ノ御修正ハ本案ノ第八條ノ但書「但主務大臣ノ認可ヲ得タルトキハ此限ニアラス」ト云フノヲ御取ニナツタノデアリマスガ、果シテ斯ウスルト、總裁、副總裁ト申スモノモ監査役ナドニモ餘程澤山ノ報酬ヲ與ヘナケレバナラヌト云フ……

○(河島醇君) 監査役ト云フモノハ削除致シマシタ、是ハ商法ニ規定ガアリマスカラ……

○(高木正年君) 併シ日本銀行ナドデモ今日矢張此但書ノヤウナ工合デヤツテ居ルノデスカ、若シ果シテ勸業銀行ノ如ク、他ノ職務ニ從事スルコトガ出來ナイコトニナルト、矢張日本銀行モサウシナケレバナラヌト思ヒマスガ

○(河島醇君) 今申サル、ヤウナコトハ、私ガ政府委員ニ質問シタ條項デアツタガ、ソレデ此本案ノ條文ヨリハ寛ニ致シテ積リデアリマス、何等ノ名稱アルニ拘ラズト云フコトガアリマスガ、ソレハ餘リ窮屈ト思ヒマスカラ……

○(高木正年君) 併シ但書ガアリマス

○(河島醇君) ソレガ分ラヌト思ヒマス、此職務ト云フコトハ固ヨリ公職ヲ言フタノデアラウガ、此商事ト云フコトハ廣ク言ツタ、御承知ノ如ク、日本銀行條例ニ依ツテ見レバ他ノ官職其他銀行又ハ會社ノ役員タルヲ得ズト云フヤウナコトニナツテ居ル、ソレカラ河野君ノ御非難ノ點ハ如何ニモ御尤デアルガ、責任ト云フモノガ重複ニナルカ知ラヌガ、責任ト云フコトハ本員ハコトデ特ニ主張スルコトハシナイガ、併ナガラ職責トカ、職權トカ、職掌トカ云フコトハアツタ方ガ宜カラウト思フ、サウ云フコトガアレバ自ラ責任ガ生ズル、是ハアツテモ商法ニ矛盾スル嫌ハアルマイト思フ、ドウカ御再考ヲ願ヒタイ

○(河野岩吉君) 先刻ハ圖ラズ大聲ヲ發シマシタデ、工藤君ニ大變御立腹ヲ受ケマシタガ、元來私ハ聲ガ高ウゴザイマスカラ、是ハ宜シク御了承ヲ願ヒマス、特ニ其間ニ私語ガアリマスカラ、速記モ迷惑デアラウト思ヒマシタカラ、持前ノ大聲ヲ以テ速記ニ差支ノナイタメニ聲ヲ大キクシタモノデアリマシタカラ、遂ニ御無禮ニ當リマシタガ、誠ニ相濟ミマセヌ、ソレカラ唯今河島君ノ御相談デアリマシタガ、私ノ責任ト云フコトガアツテハ、商法ノ規定ト衝突スルヤウナコトガ出來テハ甚ダ能クナイコトデアアルカラト云フコトデ、刪除スル意見ヲ出シタ趣旨ガソコニアリマスレバ、モウ其上ノコトニ於テ之ヲ全廢シヤウト云フ次第モナイガ、其コトヲ避ケタイト云フタメデ、之

ヲ刪除シヤウト云フコトデ、尙茲ニ其上文章ヲ茲ニ置イテ都合能ク仕立テルト云フコトナラバ、其中ソレ等ノコトハ極メテ出來テモ宜シイ……

○(豊田文三郎君) 私ハ大体河野君ト同感、文章ハ直シテモ宜シイガ、唯今ノ所私ハ斯ウシタラ宜シイト思フ、原案ノ理事ト云フヲ業務取締役、主務大臣ト云フヲ大藏大臣トシタイ

○(名倉次君) 大体私ハ河野君ト同シデ、河島君ノ修正ノ如キコトヲ挾ムコトハ、法律トシテ体裁ガ可笑イ、法律ノ体裁ハ原案ガ體ヲ備ヘテ居ルト思フ、總裁、副總裁、常務員ト云フモノヲ置イタ以上ハ、其職務ヲ法律ニ規定シテ置カヌデ、定款ニ讓ルト云フコトハ法律ノ體裁上不完全デアアル、唯今御隣カラ御説モ出マシタガ、匆卒ノ際デゴザイマスガ、矢張原案ニ修正ヲ加ヘテ大體ノ職務丈ハ茲ニ規定ヲシテ置クコトガ必要デアアル、此原案ノ六條ノ三項ノ「副總裁及理事ハ」ヲ「常務員ハ」ト變ヘレバ此法文ハ差支ナイ、其次ハ「常議員ハ重要ノ事件ニ關シ重役會議ニ列ス其事件及權限ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム」監査役ハ日本勸業銀行ノ業務ヲ監査ス」是丈ノ文章ガナケレバイケヌト思フ、即席ノコトデアリマスカラ如何トモ諸君ニ御訂正ヲ請フガ、宛ニ角精神ハソレ丈ノコトガナイト、定款ニ讓ルト云フコトニナルト、誠ニ法律ノ軀裁ヲ得ナイコトニナル、ドウカ餘リ議論ヲ致サヌデ、河島君其他ニ御再考ヲ煩シタイト思フ、議論ヲスルト行掛上ノ結果、餘リ面白クナイコトニナル、ドウカ圓滿ニ御協議シテ、成ルベク法文ノ軀裁ヲ能クシ、精神モ宜クスルコトニシタイ

〔贊成ト呼フ者アリ〕
○委員長(石田貫之助君) 名倉君ニ御問申シマスガ、第六條ヲ……
○(名倉次君) 修正案ノ八條ニ、原案ノ六條ヲ以テ來ル
○委員長(石田貫之助君) 文章ハ……
○(名倉次君) 「副總裁及理事ハ」トアルヲ「常務員ハ」ト變ヘル、夫カラ其次ハ一項ヲ挾ンデ「常議員ハ重要ノ事件ニ關シ重役會議ニ列ス、其事件及權限ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム」
○(河島醇君) 第六條ノ原案ノ各項ヲ本員ガ出シマシタ、第八條ノ第一項トシヤウト云フノデスカ

○(名倉次君) 左様、八條ノ一項ヲ削ツテ、原案六條ノ處ヘ入レルノデス
○(工藤行幹君) 名倉君ニ御問申シマスガ、修正案ハ河島君ノ修正案デゴザイマスガ、八條ノ第二項ハ……
○(名倉次君) 八條ノ二項ハ河島君ノ修正案デ、之ヲ一條ニスルカ、一項ニスルカハ考物デスガ、長クナリマスカラ一條トシテモ宜イト思ヒマス、免ニ角他ノ職務ヲ兼ネサセヌハ同意デス
○(工藤行幹君) 尙一ツ、此修正案ト原案ト、第八條デアリマスガ、程餘違ツテ居ル、ト云フモノハ、原案ノ八條ハ「何等ノ名稱ニ拘ラズ他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ス但シ云々」ト云フ風ニナツテ居ル、之ガ廣ク本文

ニ掛ツテ居ツテ、サウシテ主務大臣ノ許可ガアレバドウデモナルコトニナツテ居ル、本案ニ就イテモ河島君ノ修正ハサウジヤナイ、在任中ハ他ノ職務且商業ニ從事スルコトヲ許サヌト云フコトニナツテ、ソレドツチノ精神ヲ取ルト云フコトハ確メテ置カヌト、文章バカリデナイ、餘程精神ノ違ガアルト思フ原案通りナラ

○(名倉次君) ソレハ修正案通り宜カラウト思フ、兼ネラレル時ハ或ハ弊モゴザイマスカラ、河島君ノ精神通りデ但書ハ置カヌ方ガ宜イト云フ精神デアリマス

○(喜多川孝經君) 豊田君ノハドウ云フノデスカ、モウ一邊

○(豊田文二郎君) 第八條ノ理事ヲ業務取締トシ、主務大臣ヲ大藏大臣トスルノデ、趣意ハ原案ヲ賛成スルノデス

○(河島醇君) 本員ノ修正案ニ對シテ名倉君ノ御修正デゴザイマスガ、併シ河野君ノトハ趣意ガ違フ、原案是ハ獨裁主義ニナツテ居ル、總裁ハ獨占權ヲ持ツテ居ル、即チ全部ニカ、ル權力ヲ以テ居ル、副總裁ハ單ニ總裁ノ欠員ノトキ代理スル場合ニ於テ總裁ニ代ハル所ノ權力ヲ持ツ、之ヲ重モニ規定シタノデ、是ハ一般ノ何ニトハ大變ニ違フ、吾々修正ノ趣意ニ依ツテ見レバ大變性質ノ違ツタモノデ、一方ハ專制的ノ權力ヲ與へ、一方ハ商法ノ規定ニ依ルト云フ、ソコノ處ヲ名倉君ニ於テモモウ一邊ドウカ御考ヲ願ヒタイ

○(名倉次君) 然レバ河島君ニ反問致シマス、河島君ハ總裁ノ職務ノ規定ヲドウナサルカ、總裁ハ總理スルト云フ規定ニスルヨリ外ナカラウト思フ精神ヲ賛成シテ、私ハ同意シテ居ル、合議制ハ專制ヨリ宜イコトハ同意シテ居ルガ、文章ニスレバサウ書クヨリ仕方ガナイ

○(河島醇君) 御反問デアリマスガ、法律ニ對シテ——即チ商法ノ規定ニハドウ云フコトガアルカト云フト、總裁ハ特ニ局員ノ任免、黜陟、其他名命的ノコトヲナスベキコトガアル、定款ノ上ニ於テハ其事務ヲ總理スルコト、銀行總裁ハ普通ノ頭取トハ自ラ其職權ヲ異ニス、故ニ一般ノ商法規定トハ連帶責任ニナル、原案ノ趣意ハソレト相反シテ居ルト思フ

○(名倉次君) 原案ノ文章ヲ取ツテ來タカラ、精神マデ取ツテ來ヤウト云フデハナイ、私ノ考ハ合議制ニシテ、矢張總裁ハ斯ウ云フコトヲスル、副總裁ハ斯ウ云フコトヲスル、理事ハドウト云フコトヲ書イテ置クコトガ必要デアラウト思フ精神ナデアリマスカラ、其文章ノ書キ方ハ敢テ固執ハ致シマセヌ、斯ウスル方ガ宜カラウト云フ御考ガアレバ、皆サン御意見通りニ從フ積リデアリマス

○(河島醇君) 一寸御參考ノクメニ述ベテ置キマスガ、日本銀行ノ條例ノ中ニ第十七條ニ斯ウナツテ居ル、日本銀行ハ總裁一人副總裁一人、理事四人ヲ以テ總理スルモノトス、斯ウ云フ風ニスレバ連帶責任ニナル、斯様ナ風ノ明文デアレバ本員ガ提出シタ修正ノ趣意ニナル、此本案ノ趣意デアレバ大變違フ、丁度斯ウ云フヤウナ風ニナツテ「日本勸業銀行ハ總裁副總裁取締役十名

ヲ以テ總理スルモノトス」ト云フ文章ニスレバ強チ本員ノ提出ノ趣意ニ背カヌト思フ、原案通りデハ大變趣意ガ違フ

○(名倉次君) 其精神ハ元ト河島君ノ通りデ、合議ト云フコトハ賛成デ唯文章ガ違フノデスカ、文章ハ何レニスルモ差支ナイ、唯稍、大凡ノ規定ヲ法律ニシテ置カナケレバ、法律ノ体裁ヲ備ヘヌト云フ丈ノ意見デアリマス、又河島君ノ先日御陳述ニナツタ正金銀行ニ就イテ云ハレタニ、商法ノ發布以前ニ係ツタモノヲ定メルノト、今日ノモノヲ定メルノハ少シ考ヲ變ヘナケレバナラヌト云ハレタ、是モ河島君ノ御參考迄ニ申述ベテ置キマス

○委員長(石田貫之助君) 採決致シマス、河島君ノ御説ト、名倉君ノ御説ニ賛成者ガアリマス、先ヅ河島君ノ説カラ採決致シマス、河島君ノ第八條ニ一項、二項、河島君ノ説ニ賛成ノ諸君ハ舉手

舉手者 多數

○委員長(石田貫之助君) 多數デアリマス、河島君ノ説ニ決シマス、第三章ノ株主總會ニ至ツテ第九條

○(名倉次君) 一寸河島君ニ御尋致シマスガ、此原案ノ九條ヲ削除ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、其御趣意ハ、ドノ邊ニナリマスカ

○(河島醇君) 本員ハ九條ハ削除セヌ、第十條ニ修正ヲ置イタ所ヲ書イタノデアリマス

○委員長(石田貫之助君) 第九條ハ異議ガアリマセヌカラ、原案通り、次ニ第十條ニ移リマス

○(河島醇君) 第十條ニ向ツテ數字ヲ加ヘル所ノ修正ヲ出シタ、即チ云々何時ニテモ「重役集會」ノ決議ヲ經テ——ト云フコトヲ入ル、此重役集會ハ日本銀行其他ノ定款ニ見エテアツテ、重役會議ト云フ名稱定款ニハサウナツテ居ルガ故ニ、是デハ前ノ九條モ十條モ總裁ガ專制ノモノニナルノデス

○委員長(石田貫之助君) 河島君ノ修正説ニ賛成致シマス

○委員長(石田貫之助君) 高木君ニ御尋シマスガ、重役會トスルノデスカ

○(高木正年君) サウデス

○(河島醇君) 「集會」ノ「集」ノ字ハ取ツテ「重役會」ノ議決ヲ經テ「デモ宜ウゴザイマス

○委員長(石田貫之助君) 「重役集會」ト云フコトヲ「重役會」ト御改メニナリマス

○(河島醇君) 宜シウゴザイマス

○委員長(石田貫之助君) 採決致シマス河島君ノ重役集會トアルノヲ重役會ト改メ、其他ハ河島君ノ修正ニ……

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(石田貫之助君) ソレジャ河島君ノ修正説ニ決シマス、次ハ第十一條

○(河島醇君) 十一條ノ修正ハ取消シマス

○委員長(石田貫之助君) 十一條ハ異議ハアリマセヌカラ、原案ノ通り決シマス、次ハ第十二條ニ移リマス

○(河島醇君) 甚ダ煩ハシマスケレドモ、十一條ノ修正ハ今取消スト云フコトヲ申シマシタケレドモ、「監査役又ハ」ト云フ此五字ヲ削除スルト云フ修正案ヲ提出致シマス

○委員長(石田貫之助君) 十二條ニ掛ツテ居リマスカラ、十二條ハ中止シテ十一條ニ戻リマス

○(高木正年君) 置イテハドウデス、強イテ議論ガアリマセヌガ……

○(河島醇君) 本員モ強イテ議論ハアリマセヌガ、重複シマスカラ……

○委員長(石田貫之助君) 河島君ノ説ニ賛成者ハアリマセヌカ

○(河島醇君) 強イテ主張ハ致シマセヌ

○委員長(石田貫之助君) 賛成ハナイヤウデアリマスカラ矢張十一條ハ原案ノ通り——次ハ第十二條——十二條モ異議ハアリマセヌカラ原案ノ通り決シマス、次ハ第十三條

○(高木正年君) 此案ニハ小阪君ノ修正ガアルヤウデスガ、此「他人ノ代理ヲ爲ス者ハ二人以上ヲ代理スルコトヲ得ス」トアルノヲ「五人以上」ト致シタ、私モ質問會デ煩ハシテ置キマシタケレドモ、實際二人ト云フコトハ實行シ得ナイコトデアラウト思フ、ソレデ勸業銀行ノ株主ト云フモノハ、日本銀行ノ如ク、中央或ハ大坂アタリデ募ル、極ク少數ナ人デアレバ二人デモ宜イケレドモ、各府縣カラ募ツテ、其設立ノ趣意ヲ全クスルニハ、ドウシテモ五人以上ニシテ置カネバナラヌト思フ、故ニ私ハ五人以上ト云フコトヲ賛成スルト同時ニ、其後トニ文字ヲ加ヘタイト思フ、即チ「他人ノ代理ヲ爲スモノハ二人以上」トアルノヲ「五人」ニシテ「五人以上ヲ代理スルコトヲ得ス又其株數ハ總株數十分ノ二以上ニ及フコトヲ得ス」斯様ニ文字ヲ加ヘマス、其趣意ハ本案ノ二人以上ト云フコトハ、二人以上ニナルト、大株主ノ委任狀ヲ持ツテ居ル人ハ此會ノ議決ヲ動かス丈ノ勢力ヲ持ツト云フコトヲ恐レテ、二人以上ト云フ極ク消極ノ制限ヲ置イタモノト思ヒマスケレドモ、サリナガラ勸業銀行ノ株主ハ將來變化シナイトモ限ラナイカラ、自分ノ考デハ「他人ノ代理ヲ爲ス者ハ二人以上ヲ代理スルコトヲ得ス又其株數ハ總株數十分ノ二以上ニ及フコトヲ得ス」斯ウ云フ……

○(立石岐君) 賛成

○委員長(石田貫之助君) 採決シマス、高木君ノ修正説ニ賛成ノ諸君ハ舉手

舉手者 多數

○委員長(石田貫之助君) 過半数デアリマスカラ、高木君ノ説ニ決シマス——一應是デ休憩致シマス

午後零時二十九分休憩

衆議院日本勸業銀行法案委員會速記録第四號正誤

頁	段	行	誤	正
四	上	一	銀行法	現行法
四	上	三	債權	債券
四	上	三	債權	債券
四	上	四	切レ	缺ケ
六	上	二	出ル	出來ル
六	下	一	スル	セヌ
八	上	一	狀況	商法
頁	段	行	誤	正
九	下	一	日本銀行ノ如キ構ヘ	常盤橋外ノ如キ構ヘ
一〇	下	一	非常	市場
一六	上	二	サウデス	サウデス、既約
一六	上	二	二條	割増金ノ變更ハ二項

明治二十九年三月七日印刷

明治二十九年三月七日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局